

## 第7回 西宮市総合計画審議会 第3部会 議事概要

開催日時	平成30年9月26日(水) 14時00分～15時42分
開催場所	西宮市職員会館1階 第2中会議室
出席者	加藤委員、新川委員、藤田委員、小野委員、古塚委員、羽田委員
欠席者	なし
事務局	田村政策局長、清水政策局担当理事、楠本政策総括室長、四條政策推進課長、岩田政策総括室参事
議題(案件)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 第5次総合計画 基本構想、基本計画(原案)等について</li> <li>3. その他</li> <li>4. 閉会</li> </ol>
資料	<p>資料1 : 第3部会が所管する施策分野に関する意見の概要</p> <p>資料2 : 他部会所管の施策分野に関する第3部会での意見概要</p> <p>資料3 : 第4次総合計画で重点的に取り組んだ事項及び第5次総合計画の展望</p> <p>資料4 : 施策の横串に関するイメージ図(案)</p> <p>資料5 : 総合計画原案に関する市長意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第4回西宮市総合計画審議会議事概要</li> <li>・ 第6回西宮市総合計画審議会議事概要(案)</li> </ul>

<b>議 事 の 経 過</b>	
<b>発言者</b>	<b>発言の内容</b>
事務局	<p><b>1 開会</b></p> <p>(連絡事項、資料確認)</p> <p><b>【会議成立の確認】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本日の委員の出席状況について報告していただきたい。</li> <li>・ 6名の委員全員のご出席で、この会議は有効に成立していることを報告する。</li> </ul>
部会長 事務局	<p><b>2 第5次総合計画 基本構想、基本計画（原案）等について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第3部会として次回総会に報告する意見の方向性について、配布資料の施策ごとに確認いただきたい。キーワードと思われるところや、大きな観点ではないかというところを太字で示している。</li> <li>・ 誤字脱字等、指摘を受け当然修正することについては、答申には入れなくてもよいと思っている。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 太字のところは大きな方向を指し示す意見であるので、最終的に総会に諮る上では、このあたりが第3部会からの意見として出るのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はい。ただ、これも入れるべきだとか、これはちょっと違うのではないかといったご意見もあるかと思うので、そのあたりを今日確認いただきたい。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 異論なければ今日は、ここはもっと重要だとか、場合によってはこれはいらないとかも含めてご意見をいただいて、今日のご意見、さらにこの第5回からの第3部会としての意見のまとめについては、時間もないので、私と事務局で調整し、審議会の総会にかけるという流れにさせていただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1、第2、第3部会それぞれが担当する施策分野のところをまとめ、1本にしたものを次の第8回総合計画の審議会、全体会の中で議論していくという意味合いか。</li> <li>・ 各部会の意見をまとめた総合計画原案について審議会として確認した上で、市長に対して答申するというタイムスケジュールを進めるという理解でいいか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 答申は、原案の修正文まで審議会で決めていただくのではなく、こういうものを入れるべきだというご意見として、答申をまとめてはどうかと考えている。</li> <li>・ これまでの意見を踏まえた総合計画の修正文案については、第8回審議会の時点で、できているところまで説明する。</li> <li>・ 第8回に答申案をお示ししたい。文章の正誤表は答申案本体には入れないイメージで、こういう観点のことを記載すべき、もっと具体的に記載すべき、という点を答申いただき、事務局でそれを踏まえた修正文をつくりたい。</li> </ul>

委員	・ 審議会として議論した結果、最終答申案を作成したので、こういう答申案でいいですかというふうなことを諮るのでは。
事務局	・ 先ほどから、何を答申案と呼んでいるのかを少し正確にお伝えしようとしているが、第8回では事務局の考える形の答申案と、それを踏まえた原案の修正の方向性をお示ししたい。
部会長	・ 総会では意見がまた出るが、そこでの最終調整をするのか。
事務局	・ 第8回で出た意見を踏まえて、第9回、最終回に最終確定の答申をお願いしたい。
部会長	・ 第3部会で今日議論していただいたものについて、事務局で作成する答申（案）について、意見を言える機会はあるか。
事務局	・ はい。あくまでも案なので。
委員	・ 各団体を代表して出ている委員は、決まる前に、それぞれの団体に対してもこういう方向で決まりそうだと報告しないとイケない。個人の資格で出ているわけではないので。
	・ 総会では、決裁をするだけではなく、意見を言える場が欲しい。
事務局	・ もちろん、第8回審議会総会で再度、ご確認、議論をいただいた上で決めていきたい。
部会長	・ 第8回で原案が出て、それを持ち帰って、各々の団体の皆さんからも意見を頂戴して、第9回に向けて最終調整に向かうと考えていいか。
事務局	・ 第8回の後、第9回の前に書面等で事前にお聞きした方がスムーズかもしれない。第8回の議論を踏まえて、第9回のスケジュールに向けて、ご提案したい。
部会長	・ 委員だけで閉じたかたちで終わってしまうのはまずいので、そのあたりは、会長とご相談いただき、いろいろなチャンスを提供していただけるとありがたい。
事務局	<b>【17. 生涯学習】</b>
部会長	(資料1の1～2ページについて説明)
委員	・ もっと太字にすべきだといったご意見等について、ご発言を。
	・ 前回、学校教育と社会教育の両方が生涯学習だというお答えをいただいたが、一方の学校教育は一つの項目として取り上げられているのに、社会教育の方は、この生涯学習の範疇に入れられている。
	・ 西宮の社会教育は、生涯学習というかたちで今後進んでいくのかどうか。お聞きした範囲では、現在の社会教育の仕事をしている方には、きちっとした将来の理解ができていないような気がした。もう一度その点をお考えいただきたい。
部会長	・ 社会教育を分離する、より強化すべきだということか。
委員	・ 生涯学習でくくるとしても、社会教育として項目を設けるべきだと思っている。例えば「7. 学校教育」の目的の中に、「学校、家庭、地域との連携を推進する」とあるが、これは文字通り社会教育ではないかと思われる。そういう点も考慮して、もう一度整理をしていただければと思う。

<p>部会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育委員会との調整が必要なところだと思うが、こういうかたちでつくっているのには理由があると思うので、前回は指摘があったところでもあるので、事務局で検討し、社会教育をより強化するように変えられるのか、あるいはこのままですべていけば、その理由の準備をしていただければと思う。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 皆さんは、いかがか。社会教育について、学校教育の項目の中にも含まれているし、生涯学習の中にも、そのようなことが含まれているということで、社会教育を独立させたらどうかというご意見であったが、何か意見はあるか。</li> <li>・ 学校を社会にどう開いていくのか、それから、社会の中で学校と連携しながら、教育機能をさまざまな場面で活用していこうというのが、生涯学習においては学校教育というのがどうしても欠かせない部分として出てくるということだろうと思う。</li> <li>・ 生涯学習自体が、社会との関わりの中で学んでいくということの意味しているので、生涯学習イコール社会教育という意味合いが入ってきていると思う。</li> <li>・ 私自身は、学校教育は当然生涯学習の一環として入っていると思うが、一方、「17 生涯学習」は、むしろ社会教育的な観点から学校も含めて、社会教育というのをここで述べており、生涯学習の中に社会教育、学校教育がうまく入り込んでいるという意味では、こういう整理もあるだろうと理解している。</li> <li>・ つまり、生涯学習というのを、従来社会教育と学校教育と考えられていたものを、もう一度生涯学習という観点から捉え直し、その中で社会教育を位置付けていく。また、生涯学習的な観点での学校教育も位置付けていくというのが、この 17 番目の項目の狙いであると理解している。</li> </ul>
<p>部会長 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ このあたり事務局で精査していただければと思う。</li> <li>・ 意見番号 106 番について、にしのみやデジタルアーカイブを、図書館における知のインフラとは別に記載してほしいという趣旨の発言だったので修正してほしい。にしのみやデジタルアーカイブは郷土資料館でつくっている。</li> </ul>
<p>部会長 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発言に対する誤解があったと思うので、事務局で調整をお願いしたい。</li> <li>・ 意見番号 100 番は、公民館のことを言っているように読めるが、そうではなくて、市内にコミュニティを育む拠点が公民館以外にも、市民館、共同利用施設、地区集会施設など多数あり、これらについて集約化を図ってはどうか、という趣旨だった。</li> <li>・ 老朽化、建て替えとなれば、大きな財源が必要となってくる。公民館だけをターゲットにしているわけではない。</li> <li>・ 再開発事業の際に、集会施設の要求があつてつくったものが多い。これから人口が減少していく中で、いつまでも維持できないのではないかなと思う。</li> </ul>
<p>部会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「公民館」が太字になっているので、少し強烈か。</li> <li>・ 3 行目、4 行目の太字はこれでいいか。</li> </ul>

委員 部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はい。</li> <li>・ 最初の公民館のところについて、言葉を修正していただきたい。</li> </ul>
事務局 委員	<p><b>【18. 文化芸術】</b> (資料1の3～4ページについて説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 追加になるが、一人一人の市民の文化芸術活動、市が担う文化芸術活動、各種の芸術団体等の活動は出てくるが、その間をつなぐものが欠けている感じがする。</li> <li>・ うまくいっているかどうかは別にして、大阪で「アーツカウンシル」ができています。芸術活動、行政の活動、芸術活動を応援しようという人たちが、どのようにして芸術活動を盛んにしていくかを考え、若い人たちのために資金その他の資源を振り向けようというものである。新しいものを生み出したり、新たな芸術活動団体を支えたりする仕組みを、西宮も考えてよいのではないかと。</li> <li>・ これだけ芸術活動の層が厚い都市なので、単に事業团的な施設経営とか、アートイベントを企画するだけでなく、市民と一緒に行政も芸術活動全体を支えていくような仕組みを考えてもいいのではないかとという提案である。</li> <li>・ ヨーロッパ、アメリカでは都市には必ずアーツカウンシルがあつて、それが公的な資金や民間の資金を得て、芸術家や市民の参加のもと、芸術活動の支援とか、若い人たちの育成などに活躍しているが、西宮もそうなってもいいかなと思った。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が全面的につくるというよりは、市民とか、NPOとか、企業の皆さんも含めた仕組みということである。必ずしも先進的ではないのかもしれないが、非常に重要な機能だと思う。</li> <li>・ 新たにご指摘いただいたので、事務局の方でぜひとも引き継いでいただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化会館などを運営しておられる事業団のようなものはあるが。それを超えるようなものはない。市民の中で活発に活動をしている方が多いので。何とかつなげないかと思った。</li> </ul>
事務局 委員	<p><b>【19. スポーツ】</b> (資料1の5ページについて説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者スポーツでは、グランドゴルフ、ペタンク、クォーターテニスが盛ん。以前からあったスポーツではなくて、ここ10年で人気が出てきた。われわれも推進してきた自負はある。</li> <li>・ 障害者スポーツについて、スポーツ推進委員協議会にユニバーサルスポーツ部会をつくっている。ユニバーサルスポーツとは、障害者の方々と一緒に健常者もできるスポーツのこと。</li> <li>・ 例えば、車いすバスケットやボッチャ。ボッチャは少し重いボールを用いて体育館でやるカーリングのようなもの。障害者の方一人でやるのではなく、例えば、目が見えない方だったら、後ろにアシスタントが付いて補助もできる。</li> </ul>

部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それらをいま進めているということを、具体的に書いたらどうかと思った。</li> <li>・ 具体的なスポーツの名称まで出たが、太字にもなっており、もう少し厚みのある表現ができるのではないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共部門、学校園とふれあいのあるスポーツ、スポーツ団体が縁のあるところのほか、民間経営のスポーツクラブの役割が、これから都市の住民には重要になると思う。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公的などところと、企業、マーケットベースでやっているところを見据えたスポーツ振興が必要。単に企業スポーツとの連携と言うより、スポーツを業とする人たちが現にいることを前提に考えていかざるを得ない。市の方針の整理が必要。</li> <li>・ スポーツの面白さというのは、経済学の観点からいくと、公共財と私的財、マーケットを生かせる「準公共財」と表現しているが、それをマネジメントしていくのは、これからの行政の重要な役割だと思うので、いまの発言も、どちらか一方だけに視野を狭めるのではなく、という指摘なので、ぜひとも加えていただければと思う。</li> </ul>
事務局	<p>【20. 都市ブランド】</p> <p>(資料1の6ページについて説明)</p>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意見番号138番で、「乾杯は日本酒で」が現在でもあまり浸透しているとは言い難いというのは、方向として、もっと徹底すべきという流れか。やめるという話か。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ やめるという話にはなっていない。</li> <li>・ 公的な宴会では結構日本酒で乾杯しているが、それ以外では、なかなか浸透していない。せっかく条例をつくったが、日本酒を広めたいという機能が果たせていないという反省点がある。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ そうすると、流れとしては、もっと頑張ろうということになるのか。</li> <li>・ 乾杯の条例化は、ほかの市でも行っているようだが、普通、条例化するのか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 京都、新潟にもある。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 嗜好品を市が条例化するというのは、個人的にはいかがなものかと思うが。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乾杯だけではなく、ほかのこともやっている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食品産業の振興も合わせてやっている。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気になるのは、根本的に西宮の都市ブランド戦略をどういう方向でつくって売り込んでいくのかが見えてこないこと。それを柱の一つに掲げるというのも手だ。戦略をつくり、方向付けを10年間でやる。その中でプロモーションや資源の発掘をしていく、というようなことも考えてみてはどうか。新しい提案になるが。</li> <li>・ 都市ブランドというのは、やはりレベルが違う話。大きな西宮市全体の戦略としてこれを位置付けられていると、その下にいろいろなものがぶら下がっているというイメージで理解できるのだが。都市ブランドが項目の一つとして出てくると、スポーツや大学連携とはレベルが全然違う。</li> </ul>

委員	・ 今回の都市ブランドは西宮ブランドみたいなものをイメージして、お酒、野菜といったレベルだが、西宮総体としての魅力、つまり、都市生活、文化、快適な環境、利便性、そういうのも含めた都市ブランド戦略みたいなものがあったらいい。
部会長	・ 前回、事務局から、地区ごとのブランド化みたいなことだと説明があった。そうすると、「都市ブランド」という表現は誤解を生むかもしれない、地区の魅力といった表現の方がよい。都市ブランドだと、市全体のブランディングをイメージしてしまう。
事務局	・ 前回の部会で、担当部局からそういう意見があった。 ・ 「34 行財政（85 ページ）」に「シティプロモーション」があり、そこで市全体のことを述べている。20 番はどちらかと言えば、市内の地域に着目した話になっていると担当部局から説明させていただいた。
委員	・ これを担当している課は都市ブランド発信課。結局は狭い意味での都市ブランドを中心に組み立てられており、まち全体のブランドの話はしていない。
部会長	・ シティプロモーションのところでそれを表している。
事務局	・ 違う部局が担当している。
委員	・ 都市ブランドと言うと、名称でやはり、誤解する。
委員	・ 都市というので全体をイメージする感じがある。
委員	・ 名前を変えていただかないと。
部会長	・ そのあたりは中身の話ではなくて、表現上の話なので。
委員	・ 行財政のところでは指摘しようと思っていたが、行財政のところではシティプロモーション、要するに、行政としてまちをどう売り込むかみたいなことも打ち出しているが、これは都市ブランドの話ではないと思う。 ・ そういうこともあり、逆に、こちら都市ブランドのところをもう少し横張りの膨らませた方が、総合計画らしくていいと思った。
事務局	・ シティプロモーションを都市ブランドに持っていくということか。
委員	・ その方がすっきりするし、西宮の楽しみ方の提案とか、エリアプロモーションとかは、まさにシティプロモーションの一環でなければおかしい。
事務局	<b>【21. 大学連携】</b>
部会長	(資料 1 の 7 ページについて説明) ・ 意見番号 139 番は、いいものがあるというだけの話。むしろこれをどう活用するかというところに踏み込んだ記述があった方がいい。関学も武庫女も含めていいものがあるのは分かっており、それをどうするのかというのが計画だと思う。積極的に行政と連携を図るといったことを、具体的にしていけることが必要。
委員	・ 取組内容④で、「大学の立地を生かしたまちづくり」とあるが、大学や大学生にとって西宮というまちが役に立つ、そして、西宮の市民、西宮というまちにとっても大学が役に立つという、ウィンウィンの関係をどうつくっていくかというの

<p>部会長</p>	<p>が、根本的な大学連携の考え方だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連携の充実は大前提だが、それをどう具体的にこれからの西宮のまちのイメージ、そして、大学や大学での学びのイメージにしていくのが大事。</li> <li>・ たくさんの大学が立地し、資源の豊富な西宮なら、例えば、西宮のまち全体が大学のキャンパスになり、そのキャンパスを大学が上手に活用する。同時に市民も大学や学生の存在を、自分たちのまちの力として大いに活用するというイメージで整理すると、もう少し大学との連携の中身も豊かになっていくのではないか。</li> <li>・ 大学交流センターの活用について、そこが誰と誰をどうつなげたらいいのか。現状では、学生、市民の幅広い関心というところで止まっている。</li> <li>・ もう少し具体的に、大学と地域がどう連携関係をつくっていくのかについて、大学交流センターが企画、提案し、大学と地域の機能を高めていく。言ってみれば、まち全体をキャンパス化したり、大学をまちに開いていったり、逆にまちの中に大学をきちんと受け入れてもらうといった役割を、大学交流センターが担うというイメージが持てると思う。</li> <li>・ 先進的に大学交流センターをつくったと思うので、もっと前面に押し出してはどうか。</li> <li>・ 大学はそれぞれが閉じており、その殻を突き破って、西宮がキャンパスだということになったらいい。入口と出口は各大学でいいが、4年間西宮で学んでいる間は、できる限りコーディネーションができていくという構造を市がけん引し、大学の殻を破ったら面白いことになるのではないか。</li> <li>・ EUでは、「エラスムス構想」があり、EU加盟国の大学であれば、どこに行っても授業が受けられる。スペインの大学にいるけども、イギリスですごい先生がいたら、明日にでも飛行機で行って指導を受けられる。</li> <li>・ これはEUの世界戦略であり、人材がネットワークで結ばれるベースをつくっている。だから、大学の中に閉じるのではなく、例えば武庫川女子大学の学生が開学に行くといったことによっていろいろな広がりが出てくると思う。</li> <li>・ そのあたりもう一步、せっかくの西宮の資産を使わない手はない。難しいけれども。</li> </ul>
<p>委員 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本計画の展望なので、そういう大きな展望を出してもいいのではないか。</li> <li>・ スポーツに関しては、大学生のお兄さん、お姉さんを、小学生のスポーツクラブにコーチとして派遣する。中学生のトライやる・ウィークみたいに1週間とか来てくれたりするといい。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ そうするのはどんどん広げていくといい。</li> </ul>
<p>事務局 委員</p>	<p><b>【22. 産業】</b> (資料1の8ページについて説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在、第3次産業振興計画を策定に向けて作業中だが、項目の挙げ方も違うよう</li> </ul>



<p>部会長</p>	<p>に思う。最終的には整合していかないといけない。どちらを直すのかという問題があるが。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私と委員は両方とも関わっている。私も気にしている。</li> <li>・総合計画としての産業の位置付けと、産業そのものの計画とは、書かれるトーンは違っていても構わないが、大きな流れとして違うことが書かれてあるとまずい。その点について、産業部局と調整をお願いしたい。</li> </ul>
<p>事務局 委員 事務局</p>	<p><b>【23. 農業・食の流通】</b> (資料1の9ページについて説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食肉センターは、実際のところ、民営化は難しいのか。</li> <li>・過去にもトライしたことはあるが、受け手がないという状況にある。</li> <li>・県営と民営化のどちらもうまくいかないのが、現在の状況になっているという認識である。民営化で受けてくれるところがあれば、積極的に検討すべきと思うが。</li> </ul>
<p>委員 部会長 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少なくとも、いまの姿がベストではないと思うが、なかなか悩ましい。</li> <li>・やや政治的な要因に足をつっこむことになりそうなので、これは難しい。</li> <li>・農業では、西宮の市場に出す人が減っていて、ほとんど大阪の市場に出している。一方、人気あるのが直売。直売場をどこで、何時に、何曜日にやっているのかという一覧表がインターネット上に掲載した方がいいと言ったが、少し分かりにくいサイトなのかもしれない。よそから来ても分かるようなアピールの仕方はないか。</li> <li>・先ほどの西宮ブランドだが、西宮産野菜しか売っていない直売所が各地にあると、アピールできるのではないか。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先日、『宮っ子』にJAの直売所で売っているという記事が掲載されていた。市民農園も一覧がある。やはり一覧とか、もっとアピールしたらいいと思う。『宮っ子』は、PRのいい機会になるのではないか。</li> </ul>
<p>部会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業と消費者との接点について、新しい流れ、仕組みを検討すべきことは結構あるだろう。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「産消連携」に関心が出てきている。農家と消費者が対面し、結び付いて、新しい農業や消費の在り方を考えていくのは、大きな流れだ。ファーマーズ・マーケット、ローカル・フード・ハブといったものがどんどん出てきている。少し考えてみてもいいかもしれない。</li> <li>・また、農業が持つ多面的な機能として、耕作放棄地も増えているので、環境の保全とか、都市の緑といったところの価値も見ておいた方がいいかもしれない。</li> </ul>
<p>事務局 委員 事務局</p>	<p><b>【24. 就業・労働】</b> (資料1の10ページについて説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「障害者」という単語だが、総合計画全てそれでいくのか。</li> <li>・現在整理しているところ。「障害者」とするか、「障害のある方」とするか、担当</li> </ul>

<p>委員 委員</p>	<p>部局の方で検討中である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉系の計画では、「障害のある人」という表し方が最近多いのではないかと。</li> <li>・西宮市としては、労働者福祉の施策は普通にできるが、それ以外はなかなかできにくいので、むしろワークライフバランスの環境づくりと切り替えて、啓発や教育に力を入れるというイメージの方が、穏当かもしれない。</li> <li>・もちろん市役所が変わる、と言うのもいいが。</li> </ul>
<p>事務局 部会長 事務局 委員</p>	<p><b>【32. 地域防犯・交通安全・消費者安全】</b> (資料1の11ページについて説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人が関連する消費者トラブルとは、外国人が加害者になるという意味か。</li> <li>・情報が読み取れなくて、犯罪に巻き込まれる、被害者になるということ。</li> <li>・国の消費行政との関係で、消費生活では若い人の問題がある。平成32年の民法改正で、従来20歳であったが、18歳から親の保護を外れることになる。その教育については、短期的にも考えておかなければいけない。</li> <li>・2点目として、消費者市民社会における消費者の心構え、特に倫理的な消費者の在り方が、これからの消費者の考え方の中心になると言われている。このあたりを西宮市としてどう考えるか検討していただければ。国の方針に従う必要はないと思うので、そこは判断していただければいい。</li> </ul>
<p>事務局 委員</p>	<p><b>【34. 行財政】</b> (資料1の12～13ページについて説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほどのシティプロモーションの位置は少し気に掛かった。</li> <li>・「広報・広聴」とあるが、両方を合わせると市民参加になる。西宮市は市民参加をどう考えるのか。総合計画の中で位置付けるのか、位置付けないのか、少し悩ましい。</li> <li>・とりわけ、これから基本計画を実現していく場面で、市民、民間事業者、色々な営利、非営利の団体を含めて、地域の皆さんにも協力いただく。そのためには単に意見、要望だけ把握していたのでは済まない場面が多いと思う。</li> <li>・そうしたときに市民の力を、行政も市民も一緒になって生かしていくという考え方が、もう少し積極的に出てもよいと思う。</li> <li>・ただ、このあたりは個別の具体的な戦略論、方法論になるかもしれないが。</li> </ul>
<p>部会長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西宮市は参画協働のような条例はあるか。</li> <li>・条例はあるが、実際にはパブリックコメントが中心。</li> <li>・あと、市民に事業を提案いただいて、市と一緒にやるというものもやっている。</li> <li>・第4次総合計画では市民参画が一番大きなテーマでもあった。10年やってきて一定定着しているが、次の段階にいくのが難しいというのが、現状での課題かと思われる。</li> </ul>
<p>部会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既に手を付けているということは、それをどう進化させるのかということか。</li> </ul>

委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回のパブリックコメントで、どのような意見が集まったのか。</li> <li>・ まだ集約中の状況なので、提示できていない。</li> </ul>
事務局 委員	<p>【35. 執行体制】 (資料1の14～15ページについて説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成29年度の決算がほぼ確定している。事業計画の29年度の収支見通しは一般財源でマイナスの13億円だったが、決算だったら投資的経費に充てる一般財源はプラスに変わっているのではないか。そのあたりで、事業計画は修正するのか。</li> <li>・ 例えば、病院の問題とか、現状の事業計画に盛り込んでいないものがたくさんあるとの説明だったので、それらに使ったらいいと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歳入、歳出の見込みは、29年度決算を触ると、後年度、全部数値が変わってしまうので、そこまでするのもいかがか。</li> <li>・ 29年度決算は、よい方向に振れたので、ある程度の余力が出たという説明にさせていただきたいと思っている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10年間の収支見通しは、決算までいけば、何とか黒字が確保できると思う。今回の収支見通しは厳しめに見ており、運営の中で財源は出てくるのではないか。</li> <li>・ ここに盛り込まれていないもの、例えば、体育館、病院、甲子園の土地の問題などで、何億、何十億円とお金があるので、そういうことに使うのかと思っていた。</li> </ul>
部会長 部会長 事務局 部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ このあたり、行政の中の問題であって、外の間人がコメントするのは難しい。</li> <li>・ 資料2の説明を。</li> <li>・ (資料2について説明)</li> <li>・ 一番上の、「アクションプランも含めて基本計画として出すべきである」というのは、当初から議会との関係もあるということだったが、われわれが議論する枠組み、スタンスについてはずいぶん意見をいただいた。</li> <li>・ これも太字で書いてもらったらいいのではないか。</li> </ul>
事務局 委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はい。</li> <li>・ この資料は、単なる検討資料か。どこかにオープンに出すのか。</li> <li>・ 現時点で、これをそのまま出すことは思っていない。答申案というかたちでまとめさせていただく。</li> <li>・ そこに載らなかったご意見とか、新たな参考意見というかたちで出す方がよいという話になれば、それもできると思う。そのあたりの整理を次回、第8回でお見せして、ご意見をいただきたい。</li> <li>・ アクションプランも含めた話は、当然答申案の中に入ってくると思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市の最高法規である条例と齟齬をきたしているのではないかというのが一番言いたいところ。条例をつくったのは議会なのに、いまとなってそれが重荷になっているというのはおかしい。だから、アクションプランは、分けるのではなく、基本計画の中の一つとして、一体として考えるべきだ。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ そのあたりを指摘いただく答申案にすることは可能と思う。</li> <li>・ 書き方によっては、ややこしくならないか。シンプルに書いた方がいいのでは。</li> <li>・ だから、この資料を出すのかと聞いた。</li> <li>・ このまま使うイメージではない。これは本日の確認用。</li> <li>・ 最終的に答申にどう書くのが一番うまくいくかは、皆様のご意見を。</li> <li>・ 貴重な資料なので、全て太字にしておいていただいたらよい。</li> <li>・ 議事録には割と書いてあるのでいいが。</li> <li>・ ほかの部会の方にも、この資料を見ていただいたらいいと思う。</li> <li>・ ほかの部会で出た意見はここに入っているのか。</li> <li>・ 例えば、12 ページの 198 番、199 番。5-1、5-2 と書いているのはそれぞれ第 1 部会、第 2 部会での意見。199 番で言うと、広域行政について話が出た。</li> <li>・ 意見の確認をしていただいたので、この後、今日の意見も踏まえて、私と事務局で文言をつくるということにさせていただきたい。</li> <li>・ 残った資料について説明を。 (資料 3、資料 4、資料 5 について説明)</li> <li>・ ちなみに、この部会の所管する施策分野についての市長意見は三つあるが、事務局としては、われわれの議論と重ね合わせながら、どのように扱うのか。</li> <li>・ 例えば、リカレント教育の強化とか、芸文化術に触れられるようなまち、地域社会に還元する学びというのは、かなり具体的に書かれている。</li> <li>・ 方向性としては同じ方向を向いているものが多いと思っている。</li> <li>・ これがそのまま文書に入るといったものでもなく、方向性として一緒だということが確認できればよいのではと思っている。</li> <li>・ 今回の議論では、生涯学習の中で、地域で活躍する意欲、力を持った地域人材を育てていくというのが、「地域社会に還元する学び」になると思う。</li> <li>・ 小中学校のパソコン整備とあるが、西宮市の小中学生は一人当たりどれぐらいの割合になっているのか。一人 1 台ぐらいになっているのか。</li> <li>・ 一人 1 台はっていない。学年に何台という水準と思う。ただ、大きな画面は全部教室に入っている、電子教科書も活用可能だし、一般的に進んでいる状況だ。</li> <li>・ 新聞でも取り上げられているが、西宮は一人 1 台を標ぼうできるような投資をしてほしい。</li> <li>・ すでに、ものすごくお金がかかっている。</li> <li>・ 少なくとも、そういう授業のときは一人 1 台ずつ当たる。一クラス、小学生だったら、35 台以上入っているの、その授業をやるときには全員で。</li> <li>・ 教師には一人 1 台ずつ与えている。雑務時間を減らすため 4 千台ぐらい入れた。しかし、どれだけ時間が短縮できたかと言うと、十何分。</li> </ul>
部会長	
委員	
事務局	
部会長	
委員	
部会長	
委員	
事務局	
部会長	
委員	
事務局	
部会長	
委員	
事務局	
委員	

事務局 部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ また、5年したら次々に入れ替えていかないといけない。何億で済まなかった。</li> <li>・ 更新にすごくお金がかかる。</li> <li>・ そこに投資しないと。ブランド化というようなことに。</li> <li>・ 日本の教育は明治時代と同じで、基本的に何も変わっていない。やっている内容は、例えば、道具の使い方とかだ。海外からはやはり大変遅れている。</li> <li>・ 西宮に来たら世界最先端の教育が受けられるということになったら、それが都市の魅力になると思う。親は子どもの教育にすごく熱心で、目を光らせている。</li> </ul> <p><b>3 その他</b></p>
事務局	<p>(次回審議会について連絡 第8回審議会(総会) 11月15日(木) 午後6時～ 西宮市役所東館8階大ホールにて)</p> <p><b>4 閉会</b></p> <p style="text-align: right;">(終了)</p>